

勝海舟 没後125周年記念

日本橋 品川 川崎 神奈川 保土ヶ谷 戸塚 藤沢 平塚 大磯 小田原 箱根 三島 沼津 原 吉原 蒲原 由比 興津 江尻 府中

# 第18回 勝海舟フォーラム 2024

東京 静岡  
TOKYO SHIZUOKA

## 行ったり来たり

明治初年の勝海舟と人材周旋

「海の日」は「海舟の日」!

勝海舟顕彰会は今年も7月15日の「海の日」に

「勝海舟フォーラム2024」を開催します。

勝海舟の玄孫である高山みな子氏の基調講演に加え、

特別講演には樋口雄彦氏をお迎えして、

明治初年の東京・静岡における勝海舟のお話を伺います。

特別講演

国立歴史民俗博物館・  
総合研究大学院大学教授

樋口雄彦氏

基調講演

勝海舟玄孫  
ライター

高山みな子氏



東京都墨田区の勝海舟像

静岡県島田市の勝海舟像

2024年7月15日(海の日)(祝日) 9:30~  
(開場9:00)

参加無料 申込み不要 先着順 【会場】すみだリバーサイドホール

【主催】勝海舟顕彰会 【後援】墨田区・一般社団法人 墨田区観光協会・東京向島ロータリークラブ

第18回 勝海舟フォーラム2024 特別講演

## 東京 静岡 行ったり来たり

～明治初年の勝海舟と人材周旋～

明治初年、静岡藩時代の勝海舟は、東京と静岡の間を頻繁に往復しつつ、藩内外の「人のやりくり」に意を注いだ。具体的には、他藩への「御貸人」としての静岡藩士の派遣、静岡藩での修学を希望する他藩士の受け入れ、静岡藩の洋学者などに入門を希望する他藩士の紹介、人材を求める明治政府への静岡藩士の斡旋、海外留学を希望する藩内外の有志への協力、外国人教師の静岡藩への招聘、といったことである。

国立歴史民俗博物館・  
総合研究大学院大学教授

樋口雄彦氏



1961年静岡県熱海市生まれ。静岡大学人文学部卒業。沼津市明治史料館学芸員を経て、現在は国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学教授。博士(文学、大阪大学)。著書に『明治の旧幕臣とその信仰』(思文閣出版)、『幕末維新期の洋学と幕臣』(岩田書院)、『人のあるく 勝海舟と江戸東京』(吉川弘文館)、『旧幕臣の明治維新』(吉川弘文館)、『沼津兵学校の研究』(吉川弘文館)など多数。

基調講演 勝海舟玄孫  
ライター 高山みな子氏



慶應義塾大学文学部卒業。会社勤務を経て旅行・紀行雑誌、企業広報誌などの執筆活動をしつつ、勝海舟子孫として講演や各種イベントに参加。高知県観光大使、長崎市観光大使、三重県松阪市ブランド大使、東京都港区観光大使を務める。共著に『勝海舟関係写真集』(出版舎 風狂童子)、『日本全国ユニーク個人美術館』『日本全国ユニーク個人文学館・記念館』(新人物往来社) など多数。

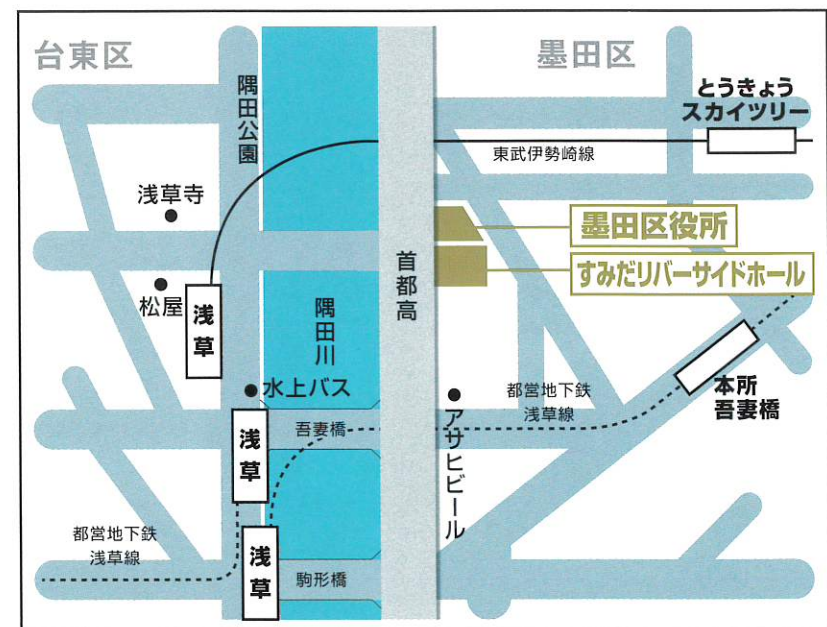
参加無料・申込み不要・先着順  
どなたでもご参加できます!!

※定員700名先着順となります。(入場制限あり)

2024年7月15日(祝日・海の日)

PROGRAM プログラム

- 08:45 献花式(勝海舟銅像前) ※献花は関係者のみ
- 09:00 開場
- 09:30 開会
- 10:00 基調講演 高山みな子氏(勝海舟玄孫)
- 10:20 特別講演 樋口雄彦氏  
『東京・静岡 行ったり来たり』  
～明治初年の勝海舟と人材周旋～
- 11:30 閉会



【会場】すみだリバーサイドホール 東京都墨田区吾妻橋1丁目23-20

東武伊勢崎線「浅草駅」正面口から約5分／東京メトロ銀座線「浅草駅」5出口から約5分  
都営地下鉄浅草線「浅草駅」A5出口から約5分／都営地下鉄浅草線「本所吾妻橋駅」A3出口から約5分  
最寄のバス停は「墨田区役所」「本所吾妻橋」「リバーピア吾妻橋」

【主催】勝海舟顕彰会 【後援】墨田区／一般社団法人 墨田区観光協会／東京向島ロータリークラブ

【協力】公益社団法人 東京青年会議所 墨田区委員会／日本大学校友会東京都第六支部／向島消防少年団 【デザイン】サンビース・グラフィックス 【作成】三澤敏博

【写真出典】『駿府名勝一覽之圖』(国会図書館)／『赤坂絵図』(国会図書館)／『勝海舟肖像』(万延元年遣米使節図録)／『Tokaido』(J・ボール・ゲティ美術館)

【お問合せ】実行委員会 E-mail▷kaisyuforum@gmail.com